

## 台風被害

今年は、自然災害が全国的に本当に多く、平成最後の年は大変な年となっています。夏の猛暑、西日本豪雨、関西の地震、北海道の地震、そして、大型台風の被害。9月上旬の台風21号の暴風雨は、本当に大変なものでした。毎年、台風が、当社の営業エリアに接近すると、屋根などの修繕依頼が入るのですが、この台風21号は、圧倒的に過去最大の被害をもたらしました。デール店舗に入った修繕依頼件数は、1000件に達します。特に春日井店で多く、500件を越えます。屋根に上がり応急処置を施し、見積もり作成を行い、保険対応の方が多いので、それらの対応を行いと、大変な忙しさです。修繕が、屋根、板金工事、ガレージなどのエクステリア工事に集中するので職人さんがとても足りずかなりの工事待ちが発生しており、お客様にはご不便をおかけしています。それでも、職人さんたちも休み無しで、朝早くから、また日が暮れても、大変頑張って仕事をしてくれており、いつもながら頭が下がります。社員もそうですが、高所の仕事なのであまり疲労がたまらないよう、無理をしすぎず、安全第一で仕事にあたってもらいたいところです。社員が出向いて養生など応急処置に奔走していること、お客様から多くの感謝の声をいただいています。お客様も、本当に皆さんいい方ばかりで、緊急を要するところを優先して下さいと、暖かい言葉をいただいています。関西では、地震による被害の修繕もまだまだ、残っている中での2回の大型台風の直撃で、来年になっても職人さんが入れない状況になってしまっています。また、デール店では、ブロック塀の被害が関西の地震であったので、補助金を利用して危険なブロック塀を直しましょうという広告をチラシに載せたら、これが結構評判が良く多くの依頼が入っていた矢先でのこの台風被害ということもあって、なかなか大変な状況です。ただ、売上、利益の方は、9月は雨が多く、なかなか工事が進まず、また、関西方面からの資材供給が止まったりと、工事は遅れている状況です。また、被害のある方を優先して、あまり利益を取るわけにもいかず、また、修繕工事中心となり大型工事は減少傾向でもあります。当たり前のことですが、困っている方がおり、我々を必要としてくれているのであれば、まずしっかり対応していくことが大切だと思います。なかなか昨今の職人さん不足ということもあり、素早く十分な対応が出来ていないのが現状ですが、今我々ができる最大限のことをしていきます。

大型の台風24号も接近しており、こ

の社内報が発行される頃には、過ぎ去っていることと思いますが、心配な状況です。

## 豚コレラの消毒作業

岐阜県からPCO協会へ協力要請があり、豚コレラの消毒作業に参加しました。参加された皆さんお疲れ様でした。

## 設備事業が好調に推移

4月より設備事業部が誕生しましたが、上半期は大変業績好調に推移しました。エネファームの設置案件が増加したのが、まず要因にあげられます。そのほか、賃貸案件やサービス付き高齢者住宅での受注増加も要因です。賃貸案件で、浴室乾燥機を標準装備して差別化を図ろうという動きも追い風です。浴暖は、一人暮らしの方、特に女性には、間違いなくありがたい設備だと思います。



## ガラスクリーニングコンテスト全国大会

2年一度のガラスクリーニングコンテストの全国大会が、今回は10月6日(土)に富山市のグランドプラザで開催されます。今回は、激戦区の東京、愛知の優勝者を輩出して、一企業としては最大人数の出場であり、全国優勝の本命であるのは間違いありません。さて、結果はいかに。選手の皆さん、頑張ってください。



## 本社の転居予定日

新本社への転居を2月9日から11日までの連休で行い、12日(火)より新本社で仕事を始める工程で準備を進めています。正式な決定、取引先様への連絡は、すべての段取りが整い次第(12月頃)、行います。

## 本社建設工事の進捗



## 中川運河沿いの開発進む

本社が転居する中川運河沿いの開発が進んでいます。新幹線口から、ささしまライブの地下を通りぬける道が完成して、新幹線口から、ささしまライブや新本社へ車でアクセスするのが改善されました。また、名古屋市では、水辺から夜景を楽しむことを応援しており、ささしまライブから中川運河や堀川をクルーズする屋形船の営業を応援しています。中京テレビが、ささしまライブへ移転したので、これからマスコミへの露出が増え人気があがるのを期待します。東京では、隅田川、お台場などの屋形船は大変な人気です。福岡でも中州から博多湾のクルーズは人気です。東京のように、ベイブリッジやスカイツリーはありませんが、ささしまライブの夜景、名古屋港、名古屋城、宮の渡しなどを見ることができ、なんといっても、当社の本社が見えます。また、中川運河を港の方に下ったところの、東邦ガス旧港明工場跡地にらぼーと名古屋みなとアクルスがオープンしました。ナゴヤドーム6個分という広大な敷地の再開発を東邦ガスと三井不動産が行っています。エネルギーは、ガスを利用した低炭素施設の開発で、さらに今後2期工事として中高層の住宅開発が行われます。キャナルウォークとして水辺に親しむエリアも出来るようなので、完成するのが楽しみです。



水辺から楽しむ夜景

## 施工事例紹介

- 施工場所 三重県志摩市
- 構造 10度傾斜アルミ架台
- 工事名 野立て太陽光発電所設置工事
- 仕様 Qセルズ低圧産業用太陽光システム  
エコめがね遠隔監視システム



施工前



施工後

### ■担当 エコエネルギー課 中安 和博

現場が住宅街近くである事から、施主様より『人の目に晒されるので、見栄えを良くしたい。ご近所に迷惑とならない様、しっかりと管理をしたい。』とのご要望をいただきました。

これらのご要望に対し、既存コンクリートを一度粉砕し、敷き直す事でスッキリとした見た目を確保。また、太陽光パネルの暗い色彩やご近所の景観に合わせた茶系のフェンスを用いる事で、発電所全体が周辺環境と調和が取れる様、ご提案をさせていただきました。管理の面では、遠隔監視により早期の異常や故障が判断できる様、遠隔監視システム採用のご提案をさせていただき、その他、架台と杭で高さに余裕を持たせる事で、除草作業が楽になる工夫を施し、見栄えと実用性の両立を実現致しました。



気がつけばもう秋



## ちょっと一言

### 「あきらめないで」



セブンハウス事業部 主任  
大竹 正義

お疲れ様です。今年もあと3ヶ月となりました。

体調を崩すことなく、頑張ってください。

さて、今回は幾度となく打ちのめされ、最後に成功を手に入れたアメリカでのある男性のお話しをしたいと思います。

その男性は、30代半ばで始めたガソリンスタンドの経営に失敗。苦労を重ね、新しくレストランを始めましたが、軌道に乗ったところ一緒に働いていた息子を亡くし、さらにレストランが火事に…その後、独自のスパイスと調理法で作るメニューを考えだし、経営を立て直します。しかし、店の近くに建設されたハイウェイで、車の流れが激減。ついにはレストランを手放すことになってしまいます。手元に残ったのは1台の車だけ。でも、そんなどん底の中でも、自分が開発したスパイスと調理法を教えるフランチャイズ・ビジネスの原型となる事業を思いつきました。その時、彼の年齢は65歳。車で生活しながら全米をまわり、売り込みを続けますが、ほとんど相手にされません。それでも決して諦めず、売り込みを続け、1,010人目にしてやっと初めての契約をもらうことができたそうです。彼こそが現在、世界80カ国以上に1万店舗以上展開しているフランチャイズ・ビジネス「ケンタッキー・フライドチキン」の創始者、カーネル・サンダースです。

夢をかなえて、世の中に大きな功績を残した人たちにはいくつかの共通点があります。

- 1) 夢を持つ
- 2) 夢を見る
- 3) 夢を話す
- 4) 夢に向かう
- 5) 夢に生きる だそうです。

人生そうやすやすと、上手くいくものでもありませんね。何度も挫折を味わい、人の痛みが分かってから本当の幸せを手に入れられるのかも知れません。

## 入社社員紹介

- ★熊崎 太志 法人事業部 岐阜営業所 28歳  
趣味: 野球観戦・旅行・ドライブ  
「早く仕事を覚え一人前になれるよう日々精進していきます。よろしくお願いします。」
- ★山村 健太郎 設備事業部 東海統括課 32歳  
趣味: 野球・子どもと公園巡り  
「1日でも早く、会社の戦力となれるよう、日々努力をして参ります！ よろしくお願ひいたします。」